



2026年 7 月 31 日

各 位

会社名 株式会社カラダノート
代表者名 代表取締役 佐藤 竜也
(コード番号：4014 東証グロース)
問合せ先 執行役員 CFO 兼 コーポレート本部長
高埜 伸一郎
(TEL 03-4431-3770)

よくある質問と回答 (2026 年 7 月)

日頃より、当社へのご関心を賜りありがとうございます。

当社 IR 活動に関連して、投資家様からお電話やメール等で個別にお問い合わせをいただくことがございます。基本にご質問に対しては、可能な限り速やかに個別にご回答させていただきますが、投資家様への情報発信の強化およびフェアディスクロージャーの観点から、頂戴した主要なご質問とその回答について、下記の通り公表させていただいております。

通常、決算発表の翌月（10月、1月、4月、7月）に公開しております。回答内容には時点のずれにより多少の齟齬が生じる可能性がございますが、その時点での最新の当社方針として公表いたします。

質問 1（住友生命保険相互会社との提携について）

住友生命保険相互会社との非保険共同サービスは、来期以降の売上機会をどの程度拡大させますか？

年内のリリースに向けて開発を進めており、来期以降の重要な収益機会と位置付けております。収益モデルの詳細につきましては現時点での開示を控えますが、両社の強みを掛け合わせた新たなサービスによる持続的な売上機会の拡大を目指しております。

質問 2（株式会社カラダノートライフパートナーズ（旧FP0社）について）

保険代理店事業の株式会社FP0のグループ化を発表しましたが、この領域の今後の事業環境の見通しを教えてください。

金融領域を取り巻く環境には一部変化もございますが、AIに代替されにくく、対人で価値を生む事業領域へのシフトが重要であると考えております。継続手数料という安定したストック収益を土台に、店舗とオンラインのマルチチャネル化やクロスセルを推進することで、環境変化に強い収益体制を構築してまいります。

質問3（株式会社カラダノートライフパートナーズ（旧FP0社）について）

株式会社FP0（カラダノートライフパートナーズ）の業績は、今期の連結決算に取り込まれますか。

現在、監査法人と協議を進めておりますが、今期業績に取り込めるように内容の確認を行っております。

質問4（株主優待制度について）

デジタルギフトの還元額および第2回以降の株主優待額はどのような基準で決定されますか。3,000万円から引き上げる条件を教えてください。

第1回（2026年7月権利分）の還元原資総額は1,500万円（年間3,000万円）をベースとし、第2回以降もこの水準を下限として維持しつつ、半期ごとに業績を踏まえて取締役会で決定いたします。現時点で引き上げの具体的な財務指標を対外的にお約束できる段階ではございませんが、基本方針として業績の成長に連動した段階的な拡大を想定しております。引き上げる基準につきましては、今後開示していけるように準備してまいります。

質問5（株主優待制度について）

シェア型優待を採用した理由・背景を教えてください。

主眼は流動性の向上になります。本優待はシェア型のため、対象株主数の増加に伴い1人あたりの受取額は変動いたします。当社は持続可能性を制度設計の根幹に据え、株主構成が変化しても安定的に継続できる形式を選択いたしました。

今後も、投資家の皆様との対話を深め、中長期的な企業価値向上に取り組んでまいります。

■問い合わせ先

株式会社カラダノート

IR担当メールアドレス：ir@karadanote.jp

■IRウェブサイト：<https://corp.karadanote.jp/ir>

最新の決算短信や決算説明資料などの決算情報、情報や株主総会関連資料のほか、個人投資家様向けのページなどをご用意しております。

■サステナビリティページ：<https://corp.karadanote.jp/sustainability>

当社のマテリアリティマップや、環境、社会、ガバナンスに関する取り組みをご紹介します。

■IRメールマガジン登録：<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSccFipEzHZ014nd712jzRksnMumr-RbscesZZTGGzZ3WdCwYQ/viewform>

適時開示や当社からのニュースを随時ご案内いたします。

以上